

## 第411回白石市議会定例会提出議案件名一覧

番 号	件 名
第46号議案	教育委員会委員の任命について
第47号議案	人権擁護委員候補者の推薦につき意見を求めることについて
第48号議案	専決処分の承認を求めることについて（専決第6号） （平成26年度白石市一般会計補正予算）
第49号議案	平成25年度白石市一般会計及び特別会計歳入歳出決算の認定について
第50号議案	平成25年度白石市水道事業会計利益の処分及び決算の認定並びに白石市下水道事業会計決算の認定について
第51号議案	白石市営住宅管理条例の一部を改正する条例
第52号議案	白石市心身障害者医療費の助成に関する条例の一部を改正する条例
第53号議案	白石市母子・父子家庭医療費の助成に関する条例の一部を改正する条例
第54号議案	白石市家庭的保育事業等の設備及び運営に関する基準を定める条例
第55号議案	白石市特定教育・保育施設及び特定地域型保育事業の運営に関する基準を定める条例
第56号議案	平成26年度白石市一般会計補正予算（第4号）
第57号議案	平成26年度白石市国民健康保険特別会計補正予算（第1号）
第58号議案	平成26年度白石市介護保険特別会計補正予算（第1号）
第59号議案	平成26年度白石市後期高齢者医療特別会計補正予算（第1号）
第60号議案	平成26年度白石市水道事業会計補正予算（第1号）
第61号議案	平成26年度白石市下水道事業会計補正予算（第2号）

# 平成26年度 9月補正予算概要

担当：総務部財政課

平成26年度9月一般会計補正予算額は4億9,604万9千円で、累計では160億9,909万9千円となります。

今回の補正予算の主な内容は、市税や上下水道料金使用料をコンビニで納付出来るようにするために電算システムを改修するほか、子育て支援施策の一環として、中学3年生を対象に季節性インフルエンザのワクチン接種費用を一部助成し、受験生の健康維持を支援します。

放射能対策としては、土壌に蓄積したセシウムの吸着抑制剤として効果のある塩化カリウムを各農家に配付し、水稲からのセシウム不検出を目指します。また、市内大手町を南北に走る市道桜小路線の拡幅工事に伴う公衆用トイレの移転工事を進め、道路利用者の安全確保につなげます。

その他では、災害ハザードマップの作成、今年100周年を迎える図書館では、児童書を中心とした図書の整備を進めるための経費を計上しております。

事業別の詳細は別紙1から6のとおりです。

(単位:千円)

会計名	補正前の額	補正額	総額
一般会計	15,603,050	496,049	16,099,099
特別会計			
国民健康保険	4,140,000	110,677	4,250,677
介護保険	3,448,364	93,745	3,542,109
後期高齢者医療	421,319	9,527	430,846
計	8,009,683	213,949	8,223,632
合計	23,612,733	709,998	24,322,731

## 企業会計

(単位:千円)

会計名	補正前の額	補正額	総額
水道事業会計	1,314,209	9,860	1,324,069
下水道事業会計	2,355,161	36,000	2,391,161

企業会計は収益的支出 + 資本的支出

## 9月補正の主な事業及び金額

(単位:千円)

事業名	金額
コンビニ収納導入事業	29,074
季節性インフルエンザ予防接種助成事業	965
農作物セシウム吸着抑制対策事業	31,838
市道桜小路線拡幅に伴う城下広場公衆トイレ移設工事	15,000
ハザードマップ作成事業	3,348
図書館100周年記念事業	1,787

コンビニ収納導入事業の金額は一般会計と水道事業会計の合計額、その他は一般会計の予算額

平成26年9月議会 記者会見資料  
平成26年度9月補正予算関係

## 市税などのコンビニ収納導入事業

担当：総務部税務課、同収納管理室、上下水道事業所

市税や上下水道料金使用料などは、これまで市役所や上下水道事業所、金融機関、夜間収納の各窓口、口座振替等で納めていただいておりますが、外出時や休日・夜間など、いつでも納付ができるコンビニ収納の要望が寄せられていました。

コンビニ収納は、納付環境の向上が期待できることなどから、平成27年度からの導入に向けて電算システムの改修等を行い、期限内納付の推進を図ります。

コンビニ納付が可能となる税、料金

市県民税、固定資産税、軽自動車税、国民健康保険税、上下水道料金使用料

収納開始予定日

市税：平成27年4月1日（水）～

上下水道料金使用料：平成27年6月15日（月）～

市税：一般会計

[歳出] 2款 総務費 2項 徴税費 2目 賦課徴収費

2事業 賦課徴収経費

13節 委託料

コンビニ収納導入に伴う電算システム改修委託料 20,000千円

14節 使用料及び委託料

電算借上料

110千円

上下水道料金使用料：水道事業会計

収益的支出

[歳出] 1款 上水道事業費用 1項 営業費用 4目 総係費

24節 委託料

コンビニ収納導入に伴う電算システム改修委託料 8,964千円

平成 26 年 9 月議会 記者会見資料

平成 26 年度 9 月補正予算関係

## 季節性インフルエンザ予防接種助成事業

担当：民生部健康推進課

インフルエンザは、インフルエンザウイルスに感染することによって、38 以上の発熱、頭痛、関節痛、筋肉痛等全身の症状が現れる他、風邪と同様にのどの痛み、鼻水、咳などの症状も見られます。毎年、11 月から 3 月頃に流行し、一般的には発症後 3 日～7 日間はウイルスを排出するため、外出を控える必要があります。

インフルエンザを予防するためには、外出後の手洗い、適度な湿度の保持、十分な休養とバランスのとれた栄養摂取などとともに、流行前にワクチン接種を受けることが感染後に発病する可能性を低減させる効果と、インフルエンザにかかった場合の重症化防止に有効であるとされております。

子育て支援を重点的に取り組んでいる本市では、受験生がインフルエンザにかかったときに将来の進路などに与える影響を考慮し、中学 3 年生を対象に季節性インフルエンザ予防接種費用の一部を助成し、健康維持を支援します。

[ 歳出 ] 4 款 衛生費 1 項 保健衛生費 3 目 予防費

3 事業 予防接種事業

1 3 節 委託料

予防接種業務委託料

9 6 5 千円

平成 26 年 9 月議会 記者会見資料

平成 26 年度 9 月補正予算関係

## 農作物セシウム吸着抑制対策事業

担当：産業部農林課

平成 23 年 3 月に発生した東京電力福島第一原子力発電所事故による放射性物質汚染は、健康不安や風評被害などの様々な被害をもたらしました。

本市農業の基幹である水稲については、平成 24 年から 26 年産米の作付前に土壌に蓄積したセシウムの吸収抑制剤として効果を発揮する塩化カリウムを購入し、各農家が全ての作付水田に散布することにより放射性物質の吸収抑制を図り、米の安全宣言をすることができました。

平成 27 年産米についても、引き続き作付前に各農家が塩化カリウムを散布することにより、安心できる白石産米の生産に繋げるため、実施団体に補助金を交付することにより事業を進め、水稲からの「セシウム不検出」を目指します。

### 事業概要

- 1 補助金交付団体：みやぎ仙南農業協同組合
- 2 物品名：塩化カリウム
- 3 数量：16,162 袋（1 袋 20 kg）
- 4 散布面積：1,077 ha（10 a 当たり 30 kg を散布）

### [ 歳入 ] 国庫支出金

東日本大震災農業生産対策交付金 31,838 千円

### [ 歳出 ] 6 款 農林水産業費 1 項 農業費 4 目 農業振興費

7 事業 農作物等放射能対策事業

19 節 放射性物質吸収抑制対策事業補助金

（米へのセシウム吸収抑制用塩化カリウム購入費）

31,838 千円

平成 26 年 9 月議会 記者会見資料

平成 26 年度 9 月補正予算関係

## 城下広場公衆用トイレ移設工事

担当：民生部生活環境課

市道桜小路線の道路改良について、昨年度は道路拡幅のための用地取得や測量設計などを進めてきました。今年度は、市役所来庁者駐車場前から城下広場前の交差点までの区間で道路拡幅及び歩道の設置工事を予定しており、全体工事は平成 27 年度の完成を目指しています。

工事が完了しますと、白石駅から市役所を通過し白石高等学校まで歩道が整備されることになり、市役所や大型ショッピングセンターの利用者、白石中学校や白石高等学校の生徒も安心して通行できるようになります。

今回の補正予算では、市道桜小路線の道路拡幅に伴い、現在道路沿いに設置している公衆用トイレが支障になるため、道路事業の移転補償により移設します。公衆用トイレの移設に当たっては、障害者用トイレを新設するとともに、城下広場利用者の利便性を考慮して配置する予定です。

### [ 歳入 ] 諸収入

道路改良工事に伴う物件移転補償金	9,946 千円
------------------	----------

### [ 歳出 ] 4 款 衛生費 1 項 保健衛生費 4 目 生活環境費

2 事業 一般管理的経費

1 5 節 工事請負費

城下広場公衆トイレ移設工事	15,000 千円
---------------	-----------

平成 26 年 9 月議会 記者会見資料  
平成 26 年度 9 月補正予算関係

## ハザードマップ作成事業

担当：民生部生活環境課

東日本大震災を教訓として、平成 24 年度～ 25 年度に掛けて、震災の経験を踏まえた防災機能及び体制の充実強化など、防災・減災の観点から復興に向けた安心して生活できるまちづくりのあり方を検討し、国の復興交付金を活用して「白石市復興・防災まちづくり計画」を策定しました。

災害ハザードマップは災害による被害の低減に非常に有効であることから、昨年度策定した計画を活かし、浸水想定区域、土砂災害危険箇所、避難所などの地図情報と災害に対する意識啓発に役立つ情報を併せて作成して市内全世帯に配付します。このことにより、災害が発生した場合に安全かつ迅速に避難できるようにし、災害による被害の軽減につなげます。

### ハザードマップの主な内容

#### 1 地図情報

浸水想定区域、土砂災害危険箇所、避難所、防災関係機関及び施設、災害時要援護者施設、国道、県道、鉄道、主要河川

#### 2 災害意識啓発情報

ハザードマップの解説及び使い方、土砂災害の種類と前兆現象、避難を開始するタイミング、避難勧告等の避難情報の伝達方法と経路、災害関連情報の発表基準、災害関連情報の入手先、避難時の心得、避難時の危険箇所、災害時要援護者への避難の協力方法、住宅の風水害対策の例示、非常持出品の内容

[ 歳出 ] 9 款 消防費 1 項 消防費 5 目 防災費  
2 事業 防災対策経費  
1 3 節 委託料  
ハザードマップ作成業務委託料

3 , 3 4 8 千円

平成 26 年 9 月議会 記者会見資料  
平成 26 年度 9 月補正予算関係

## 図書館 100 周年記念事業

担当：教育委員会図書館

白石市図書館は、大正 3 年（1914 年）11 月 3 日に「明治記念文庫」として白石第一尋常小学校（現在の白石第一小学校）内に設置されたのが始まりで、今年で 100 周年を迎えます。

これまでの主なあゆみとして、昭和 32 年に児童読書感想文集「さざんか」創刊、昭和 45 年に移動図書館車「こまくさ号」運行開始、平成 13 年にインターネットによる蔵書公開をスタートさせ、平成 17 年から夜間開館の開始、平成 20 年からは利用対象者を仙南 2 市 7 町の居住者に拡大するなどの取り組みの結果、現在では、年間延べ約 10 万人の方に利用いただいております。

100 周年を迎えるに当たり、今年 6 月の市議会定例会で予算の議決をいただき、現在作成に取り組んでいる白石市図書館 100 周年記念誌に加えて、郷土と未来ある子どものために、100 周年記念文庫として児童書や郷土資料などを整備することにより、「市民の役に立つ図書館」の実現に努めます。

### 購入予定図書等

児童書	約 550 冊
郷土資料	約 50 冊
DVD ソフト	15 本

[ 歳出 ]	10 款	教育費	5 項	社会教育費	3 目	図書館費	
	2 事業	図書館運営費					
	13 節	委託料					
		資料目録作成委託料					65 千円
	18 節	備品購入費					
		図書購入費					1,000 千円
		備品購入費					722 千円